

# 凶鑑や遊具寄贈

## エコ和歌山 稲成保育所に

田辺市稲成町、主に浄化槽工事や点検の事業を営む「エコ和歌山」（中田祐史代表取締役）は、会社近くにある稲成保育所（宇坪美代子所長）に凶鑑や遊具を寄贈した。

紀陽銀行が、資金調達のために私募債を発行する企業から受け取る手数料の一部を使って、公的団体などに寄付、寄贈する「紀陽CSR私募債」の一環。エコ和歌山は過去にひまわり寮（田辺市）や稲成小学校（同）にも寄贈している。

稲成保育所には凶鑑5冊と、遊具のトンネル5個やフラフープ10本が寄贈された。27日に同保育所で寄付贈呈式があった。中田代表取締役や紀陽銀行田辺連合店の中辻雅也統括支店長、年長組の園児13人、市職員らが出席した。

年長組の前畑選人ちゃんが中田代表取締役から目録を受け取り、感謝状を読んだ。式後に出席者で寄贈された物を囲んで記念撮影をした。

中田代表取締役は「地域



寄贈した凶鑑や遊具と一緒に記念撮影する中田祐史代表取締役（後列右から4人目）と園児ら＝田辺市稲成町で

貢献の思いから寄贈した。遊具で元気に遊んで、凶鑑で勉強してほしい」と話し、

宇坪所長は「凶鑑は子どもたちが大好きな恐竜や昆虫の本。遊具は運動遊びで大切に使用させていただくと感謝した。」

